



マクロホーム滋賀・青木社長

「木造アパート」も環境を重視し、地球に優しい住まいを提案している会社が滋賀県にある。地元の工務店、マクロホーム滋賀（青木和彦社長）で、これまでの木造アパートの耐用年数約2倍を目標にしたもので、高断熱、高気密、計画換気な

各地のレポート 木造アパートも「高性能住宅」へ 耐用年数 環境にも配慮 伸びて

どこかわったもの。アパートの外観は、ごく一般的なものだが、断熱材として床、壁に約100mmウレタンパネル（FP工法）を使い、屋根にも日射をシャットアウトする遮断パネル（105mmのウレタン）を使い、家全体をマホービンのように完全保温した。しかも、長年の施工技術力で壁内での99%無結露を実現（50年無結露保証付）、換気システムの導入で「一人にも建物にもやさしい」呼吸する家、耐用年数の大幅増を実現で

きるとの事。問題は、コストと大家さんの説得。同社では、耐用年数が平均20年のアパートを40年で試算、高性能住宅のほうがメリックが多いことを提案。大家さんには、性能を体感してもらいたい承、このほど完成した。アパートの規模は、4戸建てのメゾネットタイプ。2階にはロフトがあり、実際の大きさは3DKで4人家族でも十分可能。アパート生活で最大の問題は、上下階との音のトラブル。この建物

は、1、2階が一戸であることから、低学年の子どもが同居しても安心。家賃は、回りと比べ多少高いものの7万円台。しかし、光熱費が比較的軽いとの事で、省エネ、エコ住宅になりそうだ。全棟オール電化住宅仕様。
「結露」を起こさない構造が第一
同社の青木社長は「入居者の快適性を確保し、長期耐用年数増にするには、結露を起さないことが一番大切です。不特定の方が何年かごとに入居しますので、長持ちのためには空気の入れ替え、24時間換気が絶対条件です。365日、家全体を換気するようにしまし

た。現在入居者100%です。今年の冬の室内の体感温度は常に15℃以上との事と聞いております」と。
また、青木社長は、「地域の工務店が生き延びるには、地域でしか出来ないことや、大手がやれないことを創意工夫することではないでしょうか。それには、お建主様の理解が必要で」とも。
気密、換気、シックハウスの検査を実施
同社では、施主に安心してもらうために、①契約後住宅模型を作成し、それに基づいて打ち合わせをし、最後にプレゼントしている ②お客様との工程立会い検査と週間工程報告をしている ③



メゾネットタイプの4戸

引き渡し前の気密測定・換気測定・シックハウス検査を、全棟一棟一棟行っている（高性能住宅の

④台風などの災害対策として事前事後の訪問及び社内待機して万全の体制で行っている ⑤新築時の事前の現地地盤調査を全棟実施している ⑥長期にわたるレギュラーサポートを実施している（1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・1年・2年・5年・10年）もちろん無償点検など。